

身近な薬草

島山 敏

(元農業改良普及所長
花岡町神山)

薬用植物の歴史は古く、東洋医学として日本人の健康と深いかわりをもってきた伝統ある植物でもある。その利用は誰が見つけたものか知る由もないが、多くの先達者の経験の積み重ねのうえに今日の漢方医学という形で存在して



▶市老人クラブの薬草園



上川沿農産加工婦人部

キュウリのばりばり漬

材 料

- ・塩づけきゅうり 500g
- ・しその実 100g ・菊の花25g
- ・しょうが(小2分の1) 25g
- ・白ごま 少々 ・水アメ75cc
- ・しょう油 135cc
- A { ・酒 75cc ・酢 75cc
- ・砂糖 300g

- ①キュウリは塩抜きしてから3mm程度の厚さに切る。
 - ②水アメにカップ4分の1の水を加え、ひと煮立ちさせて冷まし、①を入れて一昼夜漬けておく。
 - ③しその実は塩抜きしたのを布でしぼる。
 - ④Aをひと煮立ちさせて冷ましておく。この中に、キュウリ、しその実、しょうがを細かく切ったもの、菊の花を細かくほぐしたもの、白ごまを入れて漬けておく。
- ▶注意すること
キュウリの水分を、できるだけよくとること。

民間療法で用いられている薬のことであり、普通単味(一種類)で煎じ薬として知られているセンブリ、ゲンノシヨウコ、ドクダミなどがこれにあたる。
▽漢方薬とは
単味で用いることは少なく、民

今回から十二回にわたってその主な薬草について述べたいと思うが、今回は、薬用植物の民間薬と漢方薬の違いから話をすすめていきたい。
▽民間薬とは
民間療法で用いられている薬のことであり、普通単味(一種類)で煎じ薬として知られているセンブリ、ゲンノシヨウコ、ドクダミなどがこれにあたる。

⑤採集後日干し、陰干し、湯どうし、など薬草にあった調整法を知っておくこと。
⑥乾燥後、湿気やカビを防ぐためビニール袋は避け、紙袋などを使用し、保存場所に注意すること。

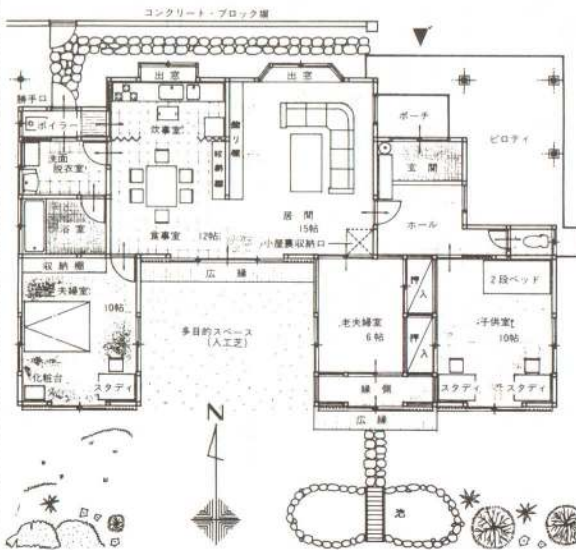
③自生薬草の採集時期を正確に知っておくこと。
④利用にあたっては、生のままで利用できる場合もあるが、時には乾燥したものの利用が多いこと

いるに違いない。
また、薬用植物は漢方薬としてだけでなく、日常生活の中においても衣食風味を保つための原料、あるいは染料色素、滋養食品として用いられるなど利用の範囲が広がっていることにも注目しなればならないと思う。
こうした薬用植物は私たちの身の回りには観賞用として庭先に、あるいは山野に数多く自生しているほか、栽培薬草についても身近なものに気付いていない場合が多いことと思う。

間葉を用いることがあっても、これに数種類を混合して煎剤(湯剤)あるいは、散剤(粉剤)として利用されるものをいう。
▽薬用としての利用部分
薬草は全部を利用できるものもあるが、種類によっては薬効の最も高い葉、花、種子、果実、根茎樹皮など特定部分を利用する。
▽利用上の注意
①薬草に似た種類が多いので必ず専門家の鑑定を受けること。
②薬草のどの部分を利用できるか正しい知識をもつこと。

興そう伸ばそう木目の美と香りの文化 木造住宅設計コンペ

大館青年木材クラブと県建築士会北秋支部青年部では、地元産材の利用を中心とした新しい木造住宅の可能性を追求し、地場産業の振興の一翼を担おうと、「第一回木造建築設計競技会(コンペ)」を開きました。競技会は「ライフスタイル、木、家、調和」をテーマとして、「さまざまなアイデアを盛り込んだ未来の木造住宅を創造しよう」という呼びかけに、二十二点の力作が出品されました。
今回から、入選となった六作品をシリーズでお知らせします。



延床面積 119.25㎡(36.0坪)

設計者 佐藤 雄幸さん (御成町3丁目)
斎藤 浩悦さん (釈迦内字台野道下)



設計主旨 日だまりをつくる凹型のサンスペースがあり、それぞれの居室が芝のある多目的スペースを開いています。ときには自然に親しみ、雨の心配なく芝でバーベキューをしたり、遊んだり、ぬれ縁に腰かけ談笑したり、一家団らん場の場となります。また全居室が日照の良い南面に位置し、健康的で、キッチンリビングのみならず、その他の居室も家具がゆったりと置けるほど広々として気持ちよく、ウオーターセクションも一つにまとまっており、経済的かつ理想的な配置です。

▶木造建築設計競技会や入選作品等、詳細についてのお問い合わせは
有浦5丁目木材会館内 木造建築設計競技事務局 ☎42-1124へ